

平成29年度文京区シルバー人材センター事業計画

1 事業開始以来40周年を迎えるにあたり新たな飛躍を目指して

平成28年度「高齢社会白書」によると、わが国の高齢化率は26.7%であり、文京区は平成28年4月現在20.0%となっています。同白書によれば、高齢化率は平成47年には33.4%に達すると予測され、国民の約3人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計しています。

一方で、白書は就労を希望する高齢者の割合は71.9%、労働力人口に占める65歳以上の高齢者の比率は11.3%であり年々上昇傾向にあるとしています。

この様に我が国の社会状況は著しく変化していますが、高年齢者の就業を促進することは、人口の高齢化や労働力人口の減少が急速に進行する中において、「生きがいの充実」や「生活の安定」、「健康の維持・増進」と相まってわが国の社会経済の維持・発展のために欠かすことの出来ないものとなっています。

このような状況下にあつて、シルバー人材センターが果たす役割は、今まで以上に重要であり、地域社会における期待もより一層大きくなってきています。

シルバー人材センターは高齢者の健康の増進や生きがいの創出につながる就業の機会を提供する団体として、事業開始以来約40年間地域に密着した事業を継続して展開してまいりました。

平成27年度には法制化30周年を迎え、今後も高齢社会を支えることの出来る地域の中核的な組織として、その果たす役割は今まで以上に重要な存在になっています。

今後のシルバー人材センター事業をさらに活性化するためには、これまでの実績を踏まえながらも時代の変化に的確に対応することが何よりも大切であり、地域の皆様の信頼と理解をより一層深め、センターが社会に貢献する団体として積極的にアピールしていく必要があります。

平成29年度におきましてもシルバー人材センター事業の重点的に推進すべき優先度の高い重要課題は、「**会員拡充**」、「**新たな就業機会の確保拡大**」、「**会員の知識・技術の付与や増強**」であります。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組みを、センターの発展につながる好機として捉え、都や区の様々な取組と連携しながら魅力ある事業の展開を図る必要があります。

これらの目的を達成するためには、日頃から安全就業の推進と適正な請負契約を推進しながら、「労働者派遣事業」を始めとする新しい様々な取り組みに果敢に挑戦していくことがセンターに課せられた使命であり、時代の要請であると言えます。

一つ一つの事業に対し、より一層の創意工夫を行いながらニーズを的確に捉えた、効果的で実効性の高いものへと磨き上げていくことを最大の目標として、ここに基本計画の着実な取組みとなる予算を編成します。

2 平成29年度基本方針と主な事業目標

次のとおり、(1)基本方針(2)主な事業目標(3)事業実施計画を策定し、関係機関等の協力を得ながら、全会員総力を結集して事業を展開します。

(1) 基本方針

① 就業機会の拡大・開拓の推進

より多くの区民や事業所等にセンター事業を知っていただくため、区の協力も得ながら様々なメディアを通じて広報活動を推進し、役職員・会員が一体となって、積極的に就業機会の開拓及び提供を行います。

特に、平成29年度の新規事業としては（仮称）「介護施設お助け隊」事業を区の支援を受けながら実施し、介護施設の業務の一部をセンターが請け負う予定です。

また、平成28年10月からスタートした「介護予防・日常生活支援総合事業」への取組みを継続して行い、元気高齢者が活躍する事業の拡大と充実を図ります。

さらに、高齢者の多様な就業機会を確保するため、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づく労働者派遣事業所の開設に向けて準備していきます。

具体的には、労働者派遣事業に必要なリサーチ（東京商工会議所文京支部との調整、区経済課や区内企業等へのニーズ調査）や各種手続き、実働準備（職員向け研修、会員登録会・研修、PR活動等）に着手し、「労働者派遣事業」の実施に向け準備を進め、新しい分野の就業機会拡大に果敢に挑戦していきます。

※労働者派遣とは「自己の雇用する労働者を当該雇用関係の下に、使用者の指揮命令を受けて、当該使用者のために労働に従事させること。」

② 適正就業への取組み

シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに基づき、自主点検や「しごと財団」の指導等を踏まえ、就業現場の確認、請負契約内容の確認や仕様書の整備などの適正就業への改善に取り組む一方で、発注者には適正就業の趣旨を十分に説明して、シルバー事業の原則である「請負・委任」契約に基づく適正な請負が成立するよう努めます。

③ 会員の増強・拡充

センターの発展を期するためには、会員の増強と拡充が必要です。センター事業の趣旨に賛同し、社会参加の意欲が高く、知識や経験の豊富な元気高齢者の入会を積極的に推進します。

そのためには、会員及び役職員が協力し、さまざまな就業分野において活躍出来る人材に参加いただけるような具体的な取り組みに全力をあげて推進します。

④ 会員の自主・自立的な組織活動の推進

昨年度より、地区・地域班ごとに様々な会員主体の地域班活動が活性化しています。地域班の活動を活性化するために、地域班独自の特色ある交流会の開催等による会員相互のさらなる親睦を図り、目標の設定により結束を強めることにより、センター事業の基盤強化や就業開拓・受注拡大に繋げて行きます。

また、仕事別グループにおいても、自主・自立的な組織活動を展開するとともに、協働・共助の精神に基づき会員間の連携を強化し、発注者との良好な関係を維持したうえで事業を進め、新たな就業分野の積極的な開拓を行います。

⑤ 会員の資質・接遇力の向上

各種会議、講習会、事業、会報などあらゆる機会をとらえて、会員の意識を高め、地域社会で働くのに相応しい人材づくりに努め、昨年度より重点を置いて実施している、コミュニケーション・スキルアップや接遇研修に力を入れて行きます。

⑥ 安全の徹底と健康管理

会員の健康と安全の確保は、シルバー人材センターの事業推進における重要な課題であり、平成27年度に「安全はすべてに優先する」という安全宣言を制定しました。

安全宣言を具体化した「安全就業基本計画」に基づく安全体制の確保や安全就業に関わる諸事業を積極的に推進し、会員の安全就業と事故防止及び健康管理に対する注意喚起を会員一人ひとりに促しながら、会員の方々が安心して働ける環境づくりに努めます。

⑦ ボランティア活動の推進

ボランティア活動もセンターの重要な業務の一つであり、公益社団法人としてのセンターの存在を広く知ってもらうため、都、区及び関係団体などと連携し、ボランティア活動（社会奉仕）を推進します。

⑧ 事務局体制の強化

事務局は、今後も日常的に気軽に参加できる就業相談等を行い、会員の意見・要望を的確に把握し、常に会員の健康と福祉の増進に努めます。

(2) 主な事業目標

区 分	平成29年度目標	平成28年度実績見込	平成27年度実績
年度末の正会員数	1,100人	1,000人	1,016人
就業実人員	880人	793人	814人
会員の就業率	80%	79.3%	80.1%
就業延日人員	84,000人日	82,783人日	82,243人日
受託契約件数	6,500件	6,444件	6,245件
受託契約金額	3億5,300万円	3億4,461万円	3億3,471万円
配分金額	3億2,800万円	3億2,019万円	3億1,083万円

(3) 平成29年度事業実施計画

(1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員募集説明会	平日2回	事務局窓口 平日午前10時・午後2時
「公益シルバーぶんきょう」の発行	年3回	6月、9月、1月頃に発行し全会員配布
「区報ぶんきょう」に掲載	年2回程度	センター周知記事掲載
リーフレットの配布	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
ポスターの掲出	随時	区施設等に掲出
インターネットホームページによる情報提供	随時	http://www.bunkyo-sc.or.jp
都営バス・文京区コミュニティバスの車内アナウンス	通年	シビックセンター前を運行するバス4路線 B-ぐる2路線
募集広告	年3回	高齢者の加入促進・就業機会拡大のためのPR
会員募集説明会	随時	高齢者施設就業前講座・文京区町会等高齢者の加入促進PR
会員募集広告	年1回	郵便局広告（現金納入袋）
PR活動	年2回	「文京区防災フェスタ」「文京ボランティア」市民活動まつり2017」加入促進・就業機会拡大のためのPR

(2) 高齢者の就業に関する調査研究

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員現況調査	年1回	未就業会員意向現況調査実施
就業会員実態調査	年1回	就業会員実態調査実施
労働者派遣事業	年3回	一般労働者派遣事業の本格実施に向けての調査
定期健康診査受診と報告	年1回	全会員
センター事業の調査研究	随時	理事会、総務事業委員会、安全管理委員会等

(3) 高齢者の就業に関する相談

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
入会希望者相談	入会申込時	事務局窓口
高齢者の仕事相談	随時	事務局窓口
未就業者相談会	年1回	役職員
就業相談	年1回	役職員(就業上のトラブルや悩みの相談)

(4) 希望と能力等に応じた就業機会の開拓及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
継続就業希望及び職種変更相談	年1回	継続希望会員
継続就業調整会議	1月	担当役職員による継続就業職種への配置調整
福祉・家事援助サービスの推進	年3回	女性委員会を中心に福祉・家事援助サービス事業担当会員交流会を開催し、情報の共有化及び課題解決に向けた協議
深耕開拓(既存契約の掘り下げ)	随時	会員、職員

(5) 講習会、研修の実施及び参加

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新入会員研修	年4回程度	新入会員
役員研修	年1回以上	理事及び監事
職員研修（しごと財団研修）	年1回以上	事務局職員
就業支援講習（しごと財団研修）	3コース程度	植木剪定、DIY等
交通安全講習会	年1回	交通指導グループ会員
接遇・技能等自主研修会	年1回以上	各仕事別グループ内でリーダー・サブリーダー等が中心となり、接遇及び技能等の向上を図る。
安全管理等講習会	随時	AED等講習会等
その他の講習会、研修会	随時	役員、会員、事務局職員等

(6) その他の事業

① 会員の自主・自立的な組織活動

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
定時総会	年1回	法令、定款等に基づく事項の決議
理事会	年12回	センターの業務執行の決定等
会計監査	年4回	監事
総務事業委員会	年10回程度	理事会議題調整等
女性委員会	年5回	女性会員の能力、特性等の活用による就業検討等
安全管理委員会	年3回	安全対策実施計画の策定及び推進
班長会	年3回	4地区34地域
地区全体会	年1回以上	4地区で開催
地区理事・代表班長・班長との連絡会	年1回以上	4地区で開催
仕事別グループリーダー・サブリーダー会	年2回	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ全体会	年1回以上	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ担当理事・リーダー・サブリーダーとの連絡会	年1回以上	12グループで開催
その他の会議	随時	

② 自主的組織活動への助成

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
地区地域班、仕事別グループ助成	随時	会場使用料、会議費、通信費等の助成
班長、リーダー等への活動補助	随時	代表班長・班長、リーダー・サブリーダー
みまもり訪問事業ボランティア	年間	社会福祉協議会事業が実施する75歳以上の高齢者への定期訪問等見守りに協力する。
東京大マラソン祭り2017	年1回	東京都が実施するマラソン事業に協力する。

③ その他

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
シルバーお助け隊（区補助事業）	年間	70歳以上の高齢者のみ世帯、障害者のみ世帯
買い物支援おたがいさまサービス事業（区補助事業）	年間	介護予防・生活支援サービス事業対象者
前期高齢者がサービスの担い手となるようはたらきかける事業（区補助事業）	年間	福祉施設
他団体との協力	年間	文京区役所、文京区町会連合会、文京区高齢者クラブ連合会、(公社)全国シルバー人材センター事業協会、(公財)東京しごと財団、第二ブロックシルバー人材センター、ハローワーク、(社福)文京区社会福祉協議会等
事務局体制の整備	年間	就業専門員の活用、公認会計士による内部統治（ガバナンス）